CIRのつぶやき

滝川市 city of takikawa

国際理解教育・国際交流・
国際協力・国際観光・多文化・
相互理解と友好を図る

Facebook page：
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

いいね！押してね☺

2022.11.01　第31号　モンゴルの結婚式

国際交流員のノミンです。モンゴルの旧暦では、だいたい西暦の３月を春の初月とし、12ヶ月をそれぞれ、四季の初、中、末の月と名付けます。モンゴルではその旧暦の「秋の中月の17日」を重要な行事を始めるのに最も縁起がいい日としています。その縁起のいい日は10月なかばになることが多いです。今年の「秋の中月の17日」は西暦では10月11日でした。

モンゴルでは、この日に集中して、結婚式や子供の断髪式など重要な儀式が行われます。あちこちで宴会の歌声が聞こえたり、花嫁、花婿の姿や民族衣装の人々でいっぱいになったりします。

今日は皆さんにモンゴルの結婚式について紹介します。

秋の縁起のいい日で結婚式宮殿に順番を待つ新郎と花嫁たち　提供:24tsag.mn

嫁請いの儀式
写真提供元:caaknews.mn

“Сүй тавих”　スイタヴィフ
婚約

1924年以前のモンゴルでは、恋愛で結婚することがほとんどなく、両親が決めていました。親同士が、将来お互いの子供たちが成年になったら結婚してほしいという願いで婚約を結んでいました。

子供はだいたい9歳から13歳のころに婚約させられていました。

1924年に法律でこの習慣を禁止とし、本人同士の自由意志が尊重されるように定められました。現在は恋愛で結婚するようになり、欧米式のプロポーズにかわりました。

“Бэр гуйх”　ベル・グイフ
嫁請い

モンゴルで結婚式を挙げるか、挙げないかは別として、新しく夫婦になるのに必ず行う重要な儀式は、「“Бэр гуйх”ベル・グイフ-嫁請い」です。嫁請いとは、花婿の代表者が花嫁の実家までに行き、花婿と花嫁が結婚することをお願いし、花嫁の両親の許可をもらう儀式です。この儀式には特別な詩や形式があります。

13世紀まで、嫁請いの式に新郎の父親が向かっていましたが、チンギスハーンの父親であるイェスゲイが嫁請いの帰り道で、毒殺されたことで、父親が代表者として行かないようになり、仲裁人が嫁請いの式を行うようになりました。嫁請いの席で、相手の親の許可、結婚式の日程、結婚持参金、財産の出し分などが話し合われます。

結婚式
P.Tserendorj 1967
写真提供:モンゴル美術館FB

CIRのつぶやき

たきかわ 滝川市 city of takikawa

国際理解教育・国際交流・
国際協力・国際観光・多文化・
相互理解と友好を図る

いいね! 押してね☺

Facebook page：
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

2022.11.01　第31号　モンゴルの結婚式

結婚式の馬頭琴と賛歌の様子
写真提供元:unesco.org

Хурим フリム 結婚式

モンゴルの法律では、18歳から結婚できます。結婚の平均年齢は、男性が26歳、女性が24歳です。

結婚式ではまず最初に、花婿の仲裁人が花嫁を迎えに花嫁の実家に行き、花嫁の家の人々がお祝いをします。花嫁を連れて来たら、新しいゲルを立て、そのゲルで新しい夫婦が共にストーブに火をつけ、互いにお茶を交わし、お客さんをもてなしをします。これで新しい家庭が始まったとし、馬頭琴を弾き、賛歌を歌い、披露宴が始まります。披露宴は３日間続きます。モンゴルの結婚式では式の進行に合わせて決まった歌が歌われます。その内容は、家族への恩や感謝の気持ちであったり、故郷の自然を称えるものであったりします。結婚式の参加者が新しい夫婦を祝い、祝福の言葉を言って、お土産を渡し、お祝いの歌を歌います。式で縁起の悪い歌を歌ってはいけません。

田舎の方では、このようにゲルで伝統的な結婚式を挙げることが多いですが、都市部ではレストランなどの大きな会場で行うことが多くなってきています。

披露宴の前に、ウェディングドレスを着て、国の施設である結婚式宮殿や区役所で入籍手続きを行い、指輪を交換し、誓いの言葉を言う習慣も出来始めています。

指輪交換
弟の結婚式より

お茶を交わす
弟の結婚式より

実家で新郎たちを待つ花嫁
写真提供元:huree.mn